

世界プレミア企業債券ファンド (為替ヘッジあり)

愛称：プレミア・コレクション

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2021年1月15日～2022年1月14日

第 6 期 決算日：2022年1月14日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界プレミア企業債券マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む先進国のプレミア企業およびその関連会社が発行する債券等を高位に組み入れるとともに、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図る運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第 6 期末 (2022年1月14日)

基準価額	10,932円
純資産総額	11,190百万円
騰落率	-2.3%
分配金合計 ^(*)	10円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第6期：2021年1月15日～2022年1月14日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	11,203円
第6期末	10,932円
既払分配金	10円
騰落率	-2.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したこと

下落要因

米国や欧州で金利が上昇したこと等を背景に、世界投資適格社債市況が下落したこと

2021年1月15日～2022年1月14日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	90	0.814	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(62)	(0.561)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(24)	(0.220)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.024	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.019)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	93	0.838	

期中の平均基準価額は、11,099円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

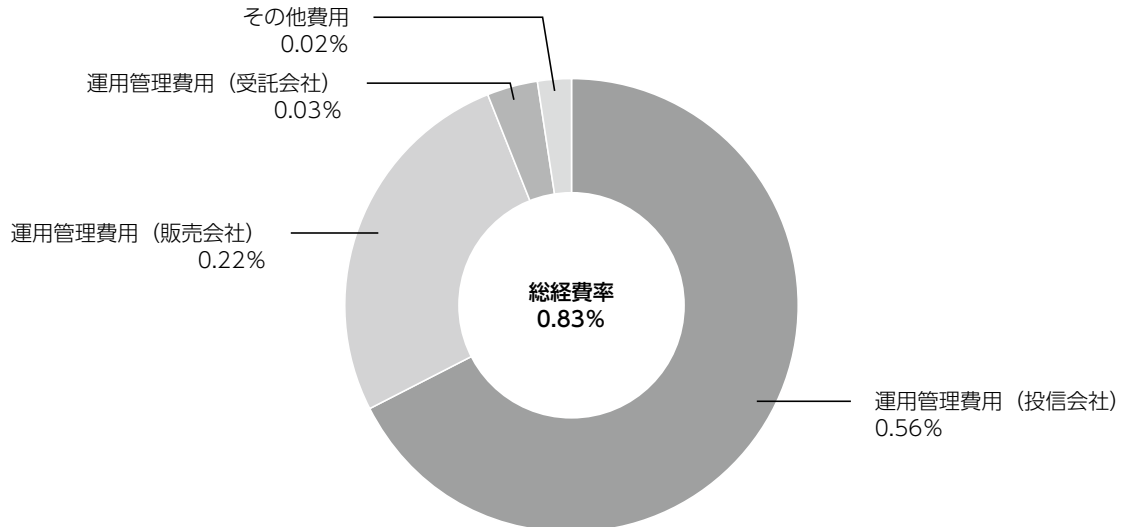
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年1月16日～2022年1月14日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2017年1月16日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/1/16 期初	2018/1/15 決算日	2019/1/15 決算日	2020/1/14 決算日	2021/1/14 決算日	2022/1/14 決算日
基準価額 (円)	10,174	10,301	10,077	10,753	11,203	10,932
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	10	0	10	10	10
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.3	-2.2	6.8	4.3	-2.3
純資産総額 (百万円)	5,996	20,114	17,371	13,613	12,666	11,190

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第6期：2021年1月15日～2022年1月14日

投資環境について

▶ 債券市況

世界投資適格社債市況は下落しました。

期初から2021年7月にかけては、米国や欧州における新型コロナウイルスワクチン接種の進捗や米国における大規模経済対策の実施に対する期待感の高まり等を背景に金利が上昇する局面もあった一方、米国や欧州の金融当局が金融緩和を継続する姿勢を示したことや新型コロナウイルスデルタ株の世界的な感染拡大に対する懸念が高まったこと等を背景に金利が低下する局面もありました。結果として、

同市況は概ね横ばいとなりました。

8月から期末にかけては、パウエル米連邦準備制度理事会（F R B）議長が量的緩和の縮小を開始する可能性に言及したことやインフレ率の上昇等を背景に金利は上昇しました。また、新型コロナウイルスオミクロン株の出現で景気の先行きに対する不透明感が高まったこと等を背景に、スプレッド（国債との利回り格差）は拡大しました。結果として、同市況は下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 世界プレミアム企業債券ファンド（為替ヘッジあり）

世界プレミアム企業債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む先進国のプレミアム企業*およびその関連会社が発行する債券等を高位に組み入れるとともに、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

※プレミアム企業とは、世界的に活躍し、広く認知された商品やサービスを持ち、財務体質が健全で、安定的な成長が期待できる企業をいい、関連会社とは、原則として資本関係を有し、プレミアム企業の事業推進の一端を担うために設立された会社等のことをいいます。

▶ 世界プレミアム企業債券マザーファンド

日本を含む先進国のプレミアム企業およびその関連会社が発行する債券等を高位に組み入れる運用を行いました。

銘柄選択にあたっては、事業ファンダメンタルズが堅確でビジネスリスクの低い企業の社債を中心に配分し、事業・地域分散も図りながら安定的なリターンを獲得を目指しました。また、円ヘッジベースでみたバリュエーションにも注意を払った運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期
	2021年1月15日～2022年1月14日
当期分配金（対基準価額比率）	10（0.091％）
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,188

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 世界プレミア企業債券ファンド（為替ヘッジあり）

マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む先進国のプレミア企業およびその関連会社が発行する債券等を高位に組み入れるとともに、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図る運用を行います。

▶ 世界プレミア企業債券マザーファンド

米国債券市場では、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が回復基調の経済に与える影響に注目が集まっています。一方で、堅調な回復基調を示している経済やインフレ圧力を受け、金融当局は金融政策の正常化への動きを加速させており、方向感が定まりにくい環境となっており、動向を注視する必要があります。欧州債券市場では、金融緩和の縮小に関する議論の動向や新型コロナウイルスの感染状況に注目が集まっています。このような環境下、投資適格社債市場は、高い信用力と金融当局による買い支えを背景に相対的な安定感を維持すると考えています。一方で、当局の政策や金利動向などが、企業ファンダメンタルズに与える影響には注視が必要です。

今後の投資戦略については、事業ファンダメンタルズが強固でビジネスリスクの低い企業の社債を中心に配分し、事業・地域分散も図りながら安定的なリターンの獲得をめざしていく方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

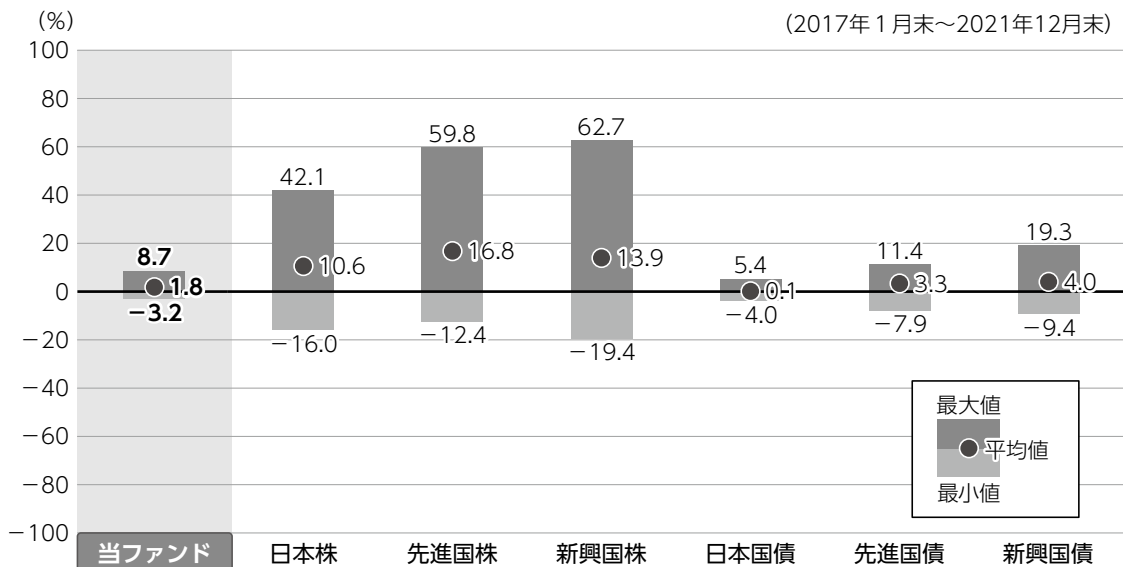
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2026年1月14日まで（2016年1月29日設定）
運用方針	<p>世界プレミアム企業債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む先進国のプレミアム企業およびその関連会社が発行する債券等に投資を行います。なお、プレミアム企業とは、世界的に活躍し、広く認知された商品やサービスを持ち、財務体質が健全で、安定的な成長が期待できる企業をいい、関連会社とは、原則として資本関係を有し、プレミアム企業の事業推進の一端を担うために設立された会社等のことをいいます。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p> <p>債券等の運用にあたっては、F I L インベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド 世界プレミアム企業債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■世界プレミアム企業債券マザーファンド 日本を含む先進国のプレミアム企業およびその関連会社が発行する債券等を主要投資対象とします。</p>
運用方法	日本を含む先進国のプレミアム企業およびその関連会社が発行する債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年1月から2021年12月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversifide

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年1月14日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第6期末 2022年1月14日
世界プレミアム企業債券マザーファンド	98.9%

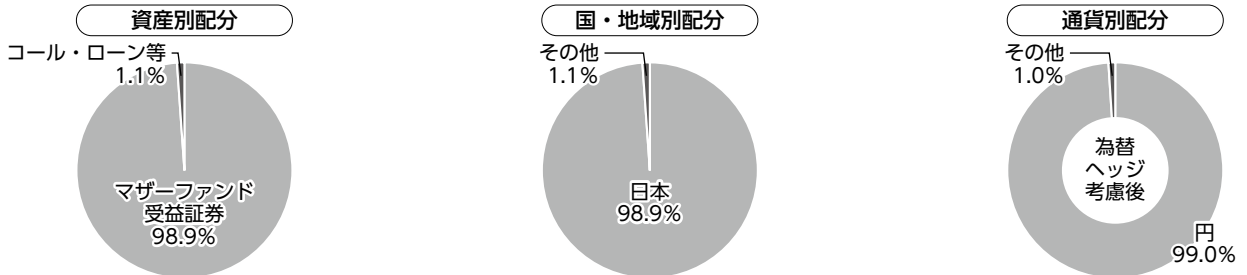
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第6期末 2022年1月14日
純資産総額 (円)	11,190,724,201
受益権口数 (口)	10,237,027,541
1万口当たり基準価額 (円)	10,932

※当期中において追加設定元本は1,554,924,587円
同解約元本は 2,624,493,205円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余剰資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】は、組入ファンドの発行地を表示しています。

291106

2022年1月14日現在

組入上位ファンドの概要

世界プレミア企業債券マザーファンド

基準価額の推移

2021年7月14日～2022年1月14日



1万口当たりの費用明細

2021年7月15日～2022年1月14日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	1	0.009
（保管費用）	(1)	(0.009)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	1	0.009

期中の平均基準価額は、11,615円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：108銘柄)

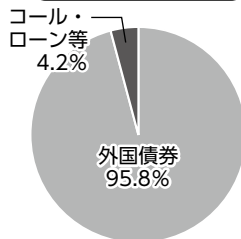
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	1.25 T-NOTE 261231	債券	アメリカ	国債	2.8
2	FRN HSBC BANK 260418	債券	イギリス	社債	2.0
3	0.872 MITSUBISHI 240907	債券	日本	社債	1.8
4	5.445 TELEFONICA 291008	債券	スペイン	社債	1.7
5	STEP CITIGROUP 281027	債券	アメリカ	社債	1.6
6	3.2 ABBVIE INC 291121	債券	アメリカ	社債	1.6
7	FRN BANK OF AM 260213	債券	アメリカ	社債	1.6
8	FRN DEUTSCHE BANK 280107	債券	ドイツ	社債	1.5
9	3.375 MPT OPER PA 300424	債券	アメリカ	社債	1.5
10	1.5 SCOTTISH HYDR 280324	債券	イギリス	社債	1.4

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 ※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

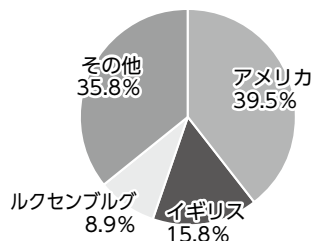
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

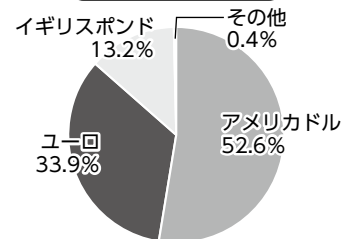
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信